

桜かき丘



いのちのせんせい ～獣医師の先生からお話を聞きました～

四国水族館の海獣課の獣医師「加来 雅人先生」を講師としてお招きし、水族館の生き物を育てることを通して知る命の大切さについて子どもたちにお話していただきました。水族館の海獣課のペンギンやイルカやアシカなどの生き物は、普段子どもたちが接することのない生き物ということもあり、興味深く聞いていました。病気やけがの治療、毎日の健康チェック、出産や子育ての支援、飼育環境の整備など様々な仕事について詳しく知るとともに、一つ一つの命と真剣に向き合う姿勢を学ぶことができました。生まれた命を守り育てるためには、毎日の世話はもちろんのこと、その生き物について十分に知らなければいけないということも感じたでしょう。

最後に、ペンギンの卵の擬卵（卵そっくりに作っている本物の卵の殻を使った偽物の卵）とペンギンの羽毛をビニール袋に詰めた物を全校生に触らせていただきました。



失敗してもくよくよししないで、失敗をおそれずチャレンジしよう！



6月6日の全校集会で「年輪」の話をしました。厳しい自然等困難に出会った木の年輪はゆがんだり傷ができてたりします。でも、それが個性としてのよさを認められたり、美しいと評価されたりするということを、私たち人間に置き換えて考えてみるといいなと思いました。「失敗したり悔しい思いや悲しい思いをしたりしたことを、学びに変えて自分自身の年輪を重ねていくことで、あなたという個性豊かな一人の人間が作られると思います。失敗しても立ち直ろう。失敗を恐れずにチャレンジしよう。」こんな話をしました。子どもたちが成長の過程でふと思い出し、何かの力になってくれればいいなと思います。



- 01 しっぱいを うけいれる
しっぱいはさけられないもの。
まずは、そのけいけんを ひていせず、
うけいれることからはじめましょう。
- 02 けいけんから まなぶ
木がきずをのりこえてせいちょうする
ように、しっぱいからなにをまなべる
かを考え、自分だけのちえにかえてい
きましょう。
- 03 じぶんらしく せいちょうす
きずあとが どくどくのうつくしさをう
むように、けいけんをいかして じぶん
らしいみりよくある人へと せいちょう
していきましょう。

松崎の町を探検しよう（2年生）



2年生は、生活科の町探検の学習で松崎の町をいろいろ調べています。先日はコミュニティーセンターを、10月6日にはうどんやさんに行きました。子どもたちが知っていたり、行ったことがあったりして親しみがある場所や行ったことがなくて新鮮な場所、どちらであっても調べる視点をもって見学させてもらうことで新しい気づきがあったのではないかと思います。自分たちの町に愛着をもつことにつながると思います。

